

# Ⅲ こども・若者をめぐる 現状と課題について

～良好な生育環境の確保に向けて～



## はじめに

令和5年4月1日に「こども基本法」が施行され、同年12月には「少子化社会対策大綱」「こどもの貧困対策に関する大綱」「こども・若者育成支援推進大綱」を一本化した「こども大綱」が閣議決定された。

これに基づき、県では令和6年度末に、「やまなし子供・若者育成指針」「やまなし子供・子育て支援プラン」「やまなし子供の貧困対策推進計画」の3つの指針や計画を一本化した「第1期山梨県こども計画」を策定した。

山梨県青少年問題協議会は、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策に係る重要事項の調査審議及び関係行政機関相互の連絡調整等を担っているため、これまで「やまなし子供・若者育成指針」の進行管理を行ってきたが、今後は当協議会での協議内容や意見を「第1期山梨県こども計画」の推進に反映させていくこととなる。

令和7年度第1回協議会では、「第1期山梨県こども計画」の基本方針6に関わる「社会環境の健全化推進」「インターネットの適正利用の推進」について協議する。また山梨県警察本部から「少年非行の現状」について説明いただき、青少年の良好な生育環境を確保するための一考としたい。

# 1. 有害図書類・有害がん具類自動販売機の設置状況

## 【社会環境の健全化推進】

### 1. 有害図書類・有害がん具類自動販売機の設置状況

	業者数	設置箇所数	台数
令和2年度	3	2カ所	7台
令和3年度	3	2カ所	7台
令和4年度	3	2カ所	7台
令和5年度	2	2カ所	5台
令和6年度	2	2カ所	5台

○自動販売機については、減少傾向  
○ネット販売が主になっている



**フィルタリングの設定が必要！**

「青少年保護育成のための環境浄化に関する条例に基づく立入調査」の結果より

「青少年保護育成のための環境浄化に関する条例」は、青少年の保護育成を図るため、それを阻害する恐れのある行為を防止し、その環境を浄化することを目的としている。

本条例に基づき、県では毎年、管理者立ち会いのもと、有害図書類・有害がん具類の自動販売機の設置状況を調査しており、この表はその結果（過去5年分）をまとめたものである。

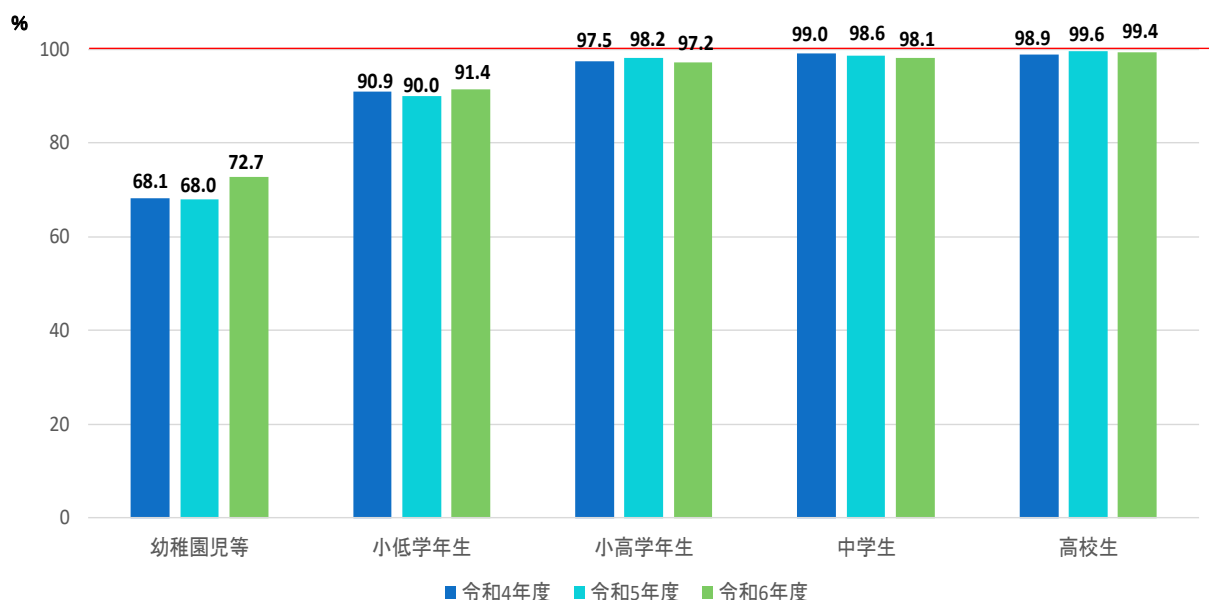
設置台数については、令和6年度時点で5台までに減少している。

インターネットでの購入が主流となってきていること、新紙幣への対応が必要なことを踏まえると、今後増加する可能性は低いと推察されるが、青少年がインターネットから容易に購入できる環境であるとも言える。有害図書等の自動販売機0台を目指すと共に、安易にインターネット購入ができないよう、フィルタリング設定率を高める取組も推進する必要がある。

## 2. インターネット利用率

【インターネットの適正利用の推進】

### 2. インターネット利用率



**幼稚園児等の利用率が増加！ 小学校高学年以上は、ほぼ100%**

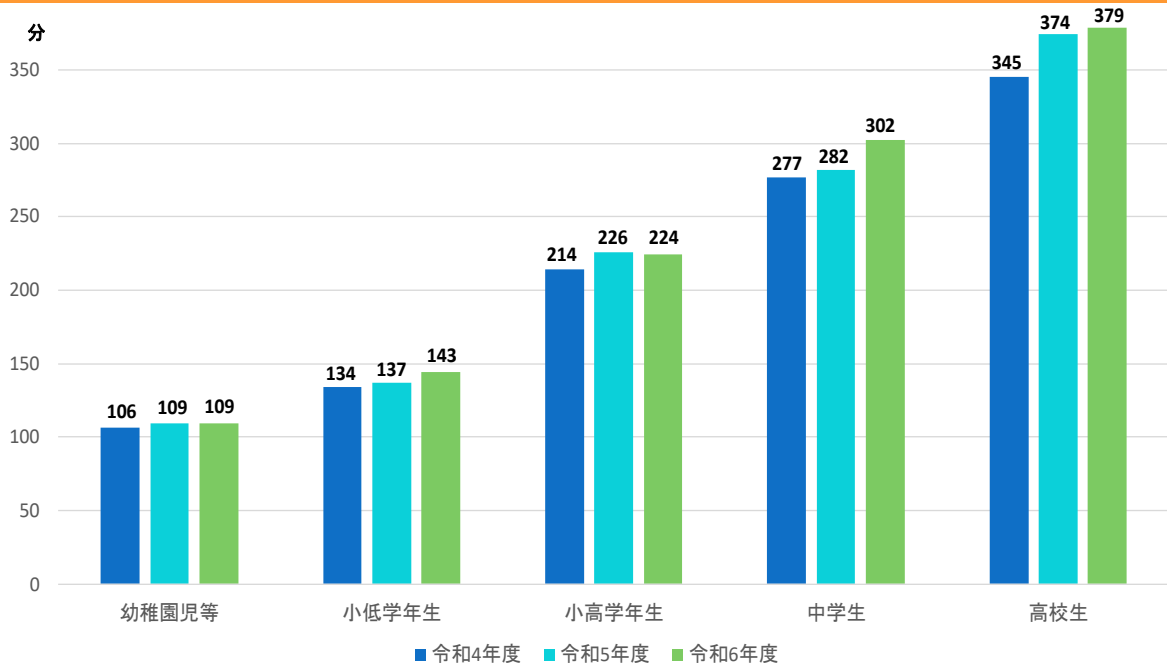
【令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査(こども家庭庁)より】

こども家庭庁が実施した「令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査」では、小学校高学年以上のインターネットの利用率が、ほぼ100%と言える状況になっている。この数値には、学校での利用も含まれており、学習や生活において、インターネットは欠かせないものとなっていることが分かる。

また、幼稚園児等の利用率が、令和5年度から4.7%増加している。幼稚園等入園前の幼児についても、36%の利用がある。令和7年度に入り、「ほっと！ネットセミナー」について、幼稚園や保育所からの問い合わせが増えていることや小学校低学年の保護者に向けた実施を依頼する学校も見られることから、低年齢層への啓発活動の希望は、今後更に増加することが予想される。

### 3. インターネット利用時間

## 3. インターネット利用時間 【平日1日あたり】



小学校高学年生から高校生は、平日1日あたり平均5時間の利用

【令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査(こども家庭庁)より】

令和6年度の平日1日あたりのインターネット利用時間は、小学校低学年生で143分(2時間23分)、小学校高学年生で224分(3時間44分)、中学生で302分(5時間2分)、高校生で379分(6時間19分)となっている。

この時間には学校での利用も含まれているが、学年が上がるに伴い、利用時間は増加していることが分かる。

小学校高学年生から高校生までの平日1日あたりの平均利用時間が5時間を超えており、多くの時間を費やしていることが分かる。

また、幼稚園児等の利用時間も109分(1時間49分)となっており、低年齢層のうちからインターネットが身近なものになっていることから、今後さらに利用時間が増加していくことが予想される。

## 4. インターネット利用内容

### 4. インターネット利用内容

令和6年度		【どの校種も動画視聴の利用が高い】		
	1位	2位	3位	
総数	動画視聴 (93.1%)	検索 (83.9%)	ゲーム (84.9%)	
小学生	動画視聴 (89.7%)	ゲーム (86.6%)	勉強 (73.9%)	
中学生	動画視聴 (94.2%)	検索 (87.6%)	ゲーム (86.7%)	
高校生	動画視聴 (95.2%)	音楽 (91.8%)	検索 (91.0%)	

令和5年度				
	1位	2位	3位	
総数	動画視聴 (93.6%)	ゲーム (85.5%)	検索 (83.6%)	
小学生	動画視聴 (90.5%)	ゲーム (87.5%)	検索 (72.8%)	
中学生	動画視聴 (94.1%)	ゲーム (87.5%)	検索 (85.5%)	
高校生	動画視聴 (95.8%)	音楽 (93.2%)	検索 (91.0%)	

【令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査(こども家庭庁)より】

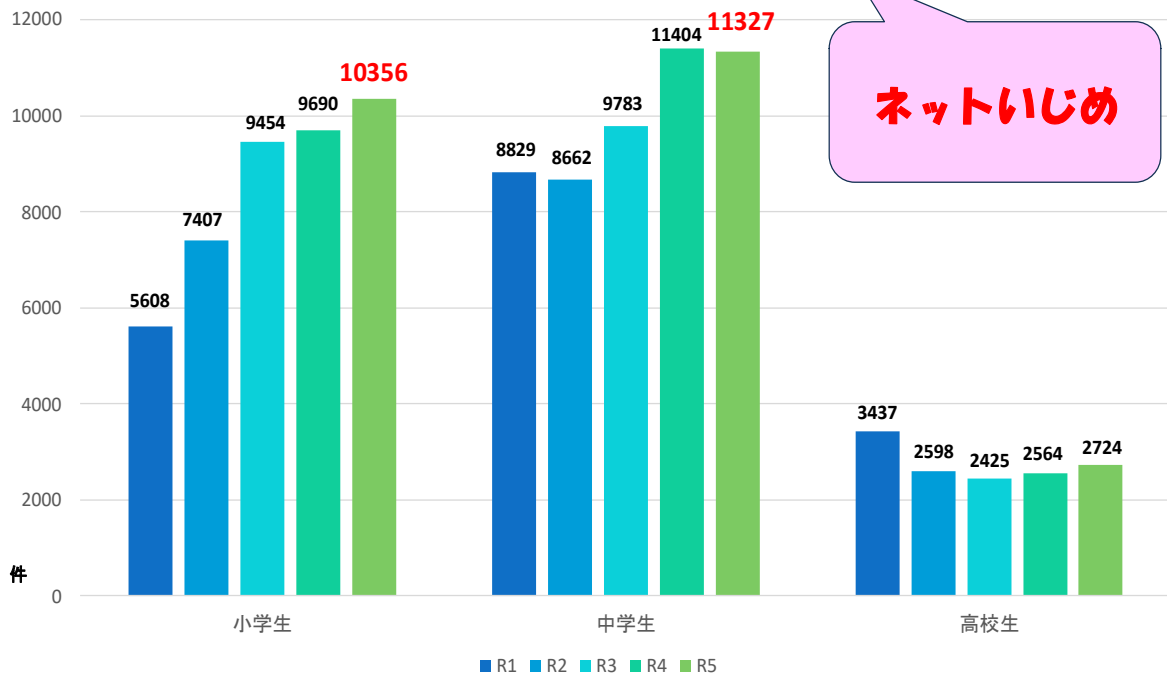
インターネット利用内容については、どの校種においても「動画視聴」の割合が高いことが分かる。「ゲーム」や「検索」も高い割合で利用していることが見て取れる。

「勉強」の利用については、小学生では第3位となっているが、中学生・高校生と学年が上がるにつれ、「勉強」での利用は低くなっていた。利用時間は、趣味や娯楽で利用する割合が多くなっていることが推察される。

なお、先ほど幼稚園児等の利用内容についても、ほぼ動画視聴となっており、次いでゲームでの利用が多くなっている。スマホ育児（育児にスマホを活用すること）は、忙しい時や学習に便利なことも多いが、依存しすぎないことが大切である。

## 5. 携帯電話等での誹謗・中傷・嫌なことをされる

### 5. 携帯電話等での誹謗・中傷・嫌なことをされる



【令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果(文部科学省)より】

こちらは、文部科学省が実施した「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」において、いじめの認知件数の中から、「携帯電話等での誹謗・中傷・嫌なことをされる」といった、いわゆる「ネットいじめ」の推移を示している。

小中学生については、令和5年度に中学生が若干減少してはいるものの、令和元年から比べると増加傾向にあり、特に小学生の増加が目立っている。

高校生については、令和元年度に比べると減少となっているが、令和2年度から微増となっている。

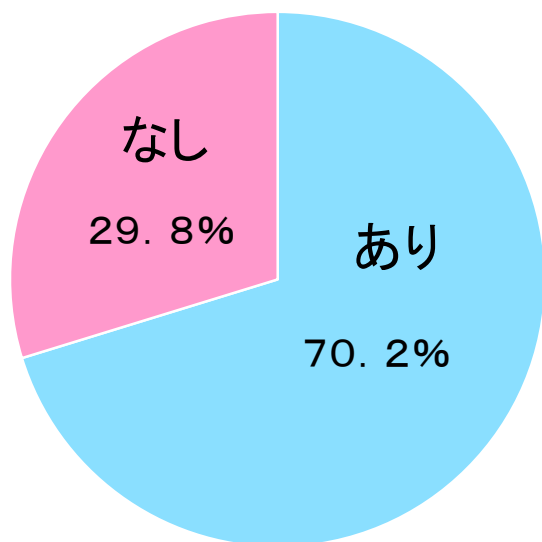
インターネットの利用時間は増加傾向にあり、今後も SNS に関係するトラブルやいじめは増加することが推察される。ネットトラブルの未然防止、インフィルタリングの利用等、啓発活動は今後も進める必要がある。

## 6. フィルタリング設定率（山梨県内小学校）

### 6. フィルタリング設定率・途中経過【山梨県内小学校】

#### 「ほっと！ネットセミナー」

（令和7年5月～7月末までの実施）



実施小学校	21件
アンケート対象	保護者
アンケート回答総数	691
スマホ所持	242 (35%)
フィルタリング設定数	170

#### 設定しない理由

- ・アプリ・ゲームが使用できなかったから
- ・見たいサイトが見られず、不便だったから
- ・自分で考えてほしかったから

このグラフは、令和7年5月～7月末までに実施した「ほっと！ネットセミナー」実施校における、フィルタリングの設定率を示している。このフィルタリング設定率については、「第1期山梨県こども計画」基本方針6「良好な生育環境の確保」にある中期目標 32「インターネットの適正利用の推進」の基本施策として掲げているものであり、設定率50%を目指している。

令和6年度の設定率33.4%から比較すると、かなり割合は高くなっている。これまでの啓発活動が、設定率向上の要因になっていると思われるが、このアンケートについては、「ほっと！ネットセミナー」実施校でとったものであるため、インターネット適正利用への関心が高く、啓発活動にも熱心であることが考えられるため、県内全体での実施率は、ここまで高くないことが推察される。引き続き取組を継続させ、設定率の目標値を達成できるよう努めていきたい。

## 1 少年非行等の状況

区分	対比	令和6年	令和5年	増 減	
				人員	増減率
非行少年等総数		2,539	4,067	▲1528	▲37.6%
うち)女子		489	678	▲189	▲27.9%
非行少年計		124	105	19	18.1
うち)女子		31	18	13	72.2
刑法犯少年		79	79	0	0.0
うち)女子		12	9	3	33.3
犯罪少年		76	70	6	8.6
うち)女子		11	7	4	57.1
触法少年		3	9	▲6	▲66.7%
うち)女子		1	2	▲1	▲50.0%
特別法犯少年		9	9		
うち)女子		1	1		
犯罪少年		9	9		
うち)女子		1	1		
触法少年					
うち)女子					
ぐ犯少年		36	17	19	111.8
うち)女子		18	8	10	125.0
不良行為少年		2,415	3,962	▲1547	▲39.0%
うち)女子		458	660	▲202	▲30.6%

年齢	人数	割合(%)
13歳以下	3	3.8%
14歳	7	8.9%
15歳	15	19.0%
16歳	9	11.4%
17歳	16	20.3%
18歳	15	19.0%
19歳	14	17.7%
合計	79	

学職	人数	割合(%)
小学生以下	0	
中学生	19	24.1%
高校生	24	30.4%
有職少年	25	31.6%
無職少年	5	6.3%
その他	6	7.6%
合計	79	

## 2 不良行為少年行為別状況

種別	令和6年		令和5年		前年比		増減率(%)	
	うち女子	うち女子	うち女子	うち女子	うち女子	うち女子	うち女子	
総数	2,415	458	3,962	660	-1,547	-202	-39.0	-30.6
飲酒	119	44	204	51	-85	-7	-41.7	-13.7
喫煙	873	119	1,170	112	-297	7	-25.4	6.3
粗暴行為	59	9	85	12	-26	-3	-30.6	-25.0
金品持ち出し	5	1	7	0	-2	1	-28.6	
暴走行為	121	20	285	29	-164	-9	-57.5	-31.0
家出	30	16	49	17	-19	-1	-38.8	-5.9
無断外泊	2	2	10	6	-8	-4	-80.0	-66.7
深夜はいかい	719	162	1,131	250	-412	-88	-36.4	-35.2
怠学	13	4	28	3	-15	1	-53.6	33.3
不良交友	66	17	217	29	-151	-12	-69.6	-41.4
不健全娯楽	59	17	194	95	-135	-78	-69.6	-82.1
その他	349	47	582	56	-233	-9	-40.0	-16.1

## 3 刑法犯検挙人員における少年の再犯者率(%)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
山梨	30.6%	38.8%	34.9%	30.0%	36.8%
全国	34.0%	33.7%	31.7%	30.2%	31.2%

## 4 刑法犯検挙件数における少年の共犯率(%)

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
山梨	24.4%	18.8%	26.5%	15.2%	32.6%
全国	25.4%	26.0%	26.9%	25.1%	22.9%

※ 表中の共犯率は、少年と成人との共犯事件は含まれていない。